

# 「E B P Mの試行的検証」

E B P M推進に向けた取組み・ロジックモデルなどについて

平成29年11月15日

行政改革推進本部事務局

説明資料

E B P M とは

E B P M

= Evidence-Based Policy Making

= 証拠に基づく政策立案

# 統計改革推進会議（議長：内閣官房長官） 最終取りまとめ（本年5月）

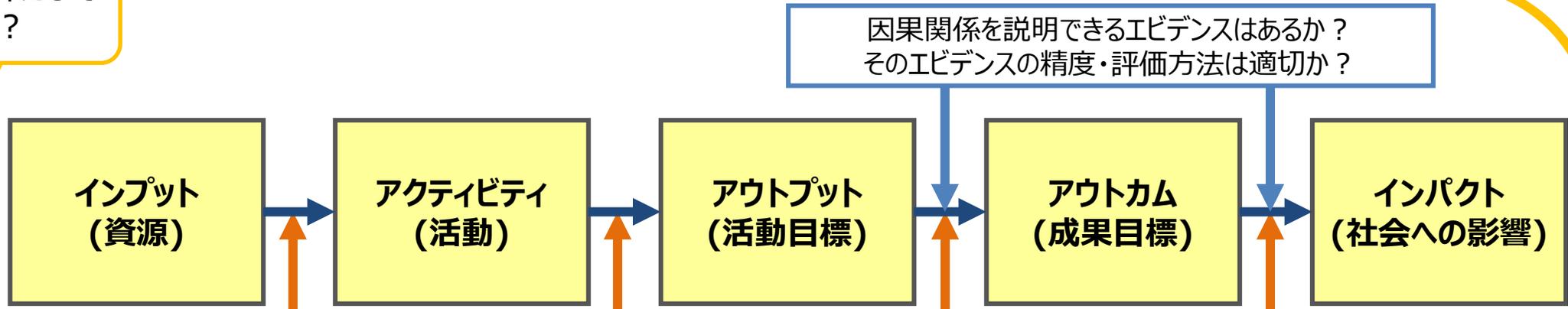
「我が国の経済社会構造が急速に変化する中、限られた資源を有効に活用し、国民により信頼される行政を展開するためには、政策部門が、統計等を積極的に利用して、証拠に基づく政策立案（EBPM。エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング）を推進する必要がある。」

→ EBPM推進の一環として、「秋のレビュー」において、EBPMの取組の試行的検証を実施

# ロジックモデル（イメージ例）と評価方法

未定稿

そもそも政策として  
行うべきか？



因果関係を説明できるエビデンスはあるか？  
そのエビデンスの精度・評価方法は適切か？

**事業設計**

- 予算等を投入すれば、計画した活動の実施が可能となる。
- 計画した活動が実施できれば、一定の行政サービスが実施可能となる。
- その行政サービスが実施できれば、行政サービス対象者が利益を得られる。
- 行政サービス対象者が利益を得られれば、国民・社会に変化が起きる。

政策目的達成までの道筋は適切か？

**効果検証**

- 計画した活動は実施できたか？そのために、予算等の必要な資源は利用されたか？
- 活動目標は達成されたか？そのために、策定された活動計画は合理的であったか？
- 事業の成果目標は達成されたか？そのために、実施された活動は効果的・効率的であったか？
- 国民・社会に意図した変化は生じたか？そのために、事業の成果目標の達成は寄与したか？

政策による社会状況への改善効果があったか？

事業が意図された通り実施されたか？

事業実施の費用対効果は十分か？

## 【論点】 全事業共通

- ① 統計・データ等に基づく現状分析を踏まえて、明確な事業目的が検討・設定されているか。
- ② 事業目的を達成して明確な効果を発現させるために、ロジックモデルや統計・データ等に基づき、最適な手段となるよう事前の検討が行われているか。
- ③ 事業実施により当初意図した効果が発現したかどうか検証するために、ロジックモデルや統計・データ等に基づき、最適な手段であったかどうかの事後的な検討が行われているか。
- ④ ロジックモデルの因果関係が統計・データ等に基づいて適切に説明されるよう具体的な検討が行われているか。インプットからインパクトまで積み上げる場合も、インパクトからインプットまで掘り下げる場合も、因果関係に破綻・飛躍がないよう意識した検討が行われているか。
- ⑤ ロジックモデルの各要素や因果関係を説明する際の統計・データ等の有無や無い場合の理由が適切かどうかの検討が行われているか。また、統計・データ等をエビデンスとして用いる際の精度や評価方法が適切かどうかの検討が行われているか。